

<単元の指導計画>

全4時間＋講師派遣授業1時間 3年社会科（公民分野）：私たちの生活と経済、消費者として・企業を通して金融や経済活動を考える。

授業日時	時間数	学習内容	生徒の活動	学習課程 (使用教材)
12月3日(月) 6時間目 14:20～15:10	1時間	収入と支出を考える	・生活設計・マネープランゲームを行う。(班活動)	・生活設計・マネープランゲーム ・マネープラン用ワークシート ・導入として行うため、偶然性のゲームとする。 ・各班の結果をホワイトボードに記入し発表する。 ・PC・スマートボード
12月4日(火) 2時間目 9:50～10:40	1時間	クレジットとローンの仕組み	・クレジット・ローンの仕組みについて理解する。 ・メリット・デメリットを理解し、有効活用できるようにする。 ・信用の重要性を理解する。	・知ろう！学ぼう！お金の使い方 ・クレジットの仕組みを理解する。 →クレジット返済シミュレーション体験 ・ローンの仕組みを理解する →頭金・利息と返済総額の関係を理解する。 ・信用の重要性を理解する。 ・PC・スマートボード
12月5日(水) 4時間目 11:50～12:40	1時間	企業と金融の関係	・企業の活動目的を理解する。 ・企業がどのように金融と関わっているのか理解する。	・教科書 ・企業の種類や目的を理解する。 ・資金調達には、どのような方法があるのかを考える。 ・PC・スマートボード
12月10日(月) 6時間目 14:20～15:10	1時間	市中銀行と中央銀行の違い	・市中銀行の業務と役割、中央銀行の役割を理解する。 ・経済の仕組みを理解する。	・教科書 ・知ろう！学ぼう！お金の使い方 ・市中銀行と中央銀行の業務や役割を知ること、経済の仕組みについて理解を深める。 ・金融政策の内容と課題について考える。 ・PC・スマートボード
12月12日(水) 2時間目 9:50～10:40 3時間目 10:50～11:40	各クラス 1時間	講師派遣	・銀行の業務、仕組みなど、銀行に関する内容理解を行う。	・各クラス個別に授業実施 ・PC・プロジェクター・スクリーン

12月3日（月）14:20～15:10（6時間目）

1 時間目

本時のテーマ：「収入と支出のバランスを考える」

本時の目的：①お金を使う「支出」という行為自体が、「収入」という裏付けがあってはじめて成り立つことに気づき、収入と支出のバランスを意識できるようにする。

②班で協力して生活設計・マネープランゲームを行い、結果を発表する。その内容を傾聴できるようにする。

	生徒の学習活動	教材（発問・指示を含む）	学習到達目標（評価）	概念的知識
導入	◎導入マンガを見る	◎導入マンガ（知ろう！学ぼう！生徒用テキスト p4）	◎過度な浪費や節約は人生を幸せにしないことを理解し、そのために生活設計やマネープランが必要であることを知る。	生活設計 マネープラン
展開	◎「生活設計・マネープランゲーム」を行う ・班長・計算係 ・記録係・思い出係 ・カード係（2,3名） ◎班長が発表する 「収入」「基本生活支出」「結婚」「子ども」「住居と種類」「支払い方法」「車」「思い出ポイント」「どんな人生だったか？改善点」	◎係を決める ◎スライドを見ながら進める。 ◎マネープランシートに結果を記入する。	◎偶然性で行われた結果は、生活設計やマネープランなしの人生であると理解する。 ◎結果として40歳代終了時点での収支を見る中で、生活設計やマネープランが必要であることを理解する。 ◎適切なことが記入されているか。特に、改善点が有効であるか。 ◎班による発表が円滑かつ適正であるか。	
まとめ	◎ワークシートをまとめる	◎用語の確認をし、本時の感想を書く。 （教科書参照）	◎ゲーム内では、基本生活、結婚、子ども、住居、自動車、保険などが生活設計にあたり、収入や支出がマネープランにあたることや、それらのポイントを理解する。 ◎理解できたことを的確に表現できているか。	

2 章 消費者として経済を考えよう

1 自分の家の家計を考えよう

経済の学習では、家族のことを経済活動の単位として、（ 家計 ）とよぶ。

おもな役割は、（ モノ ）や（ サービス ）の消費と企業などへの（ 労働 ）の供給である。

家計に入る収入・・・（ 所得 ）

おもなものは会社などで働いて得る（ 給与 ）

ほか、アパートや株式などの財産から得る

（ 所得 ） － 税金・社会保険料 ＝ （ 可処分所得 ）

↓

全額支出すると・・・

（ 所得 ）の一部を（ 貯蓄 ）にまわす。

メモ

12月4日（火）9:50～10:40（2時間目）

2時間目

本時のテーマ：「クレジットとローンの仕組みを考える」

本時の目的：①お金を使うだけでなく、カードなどで商品を買うことができることを知るとともに、使うときに注意しなければならないことを意識できるようにする。

	生徒の学習活動	教材（発問・指示を含む）	学習到達目標（評価）	概念的知識
導 入	◎導入マンガを見る	◎導入マンガ（知ろう！学ぼう！生徒用テキスト p12）	◎便利さゆえに、使いすぎると多重債務や自己破産などの可能性があることを理解する。	クレジット
展 開	◎知ろう！学ぼう！生徒用テキストを使い、「クレジット」や「ローン」のメリット・デメリットを理解する。 ◎班活動を通して話し合いながら進める。 ◎代表の班長が発表する。	◎知ろう！学ぼう！生徒用テキストやクイズ、シミュレーションをとおして「メリット」「デメリット」を班で話し合う。	◎まず、自分の意見を出し合いながら、班の意見としてまとめていく。 ◎班による発表が、円滑かつ適正であるか。	クレジットカード 電子マネー
ま と め	◎ワークシートをまとめる	◎用語の確認をし、本時の感想を書く。 （教科書参照）	◎将来、カードを持ったときに注意すべき内容を理解できているか。 ◎理解できたことを的確に表現できているか。	

2 買い物方法はいろいろ

かつては小さな商店（小売店）などが中心



今は、スーパーマーケットやコンビニエンスストア、通信販売などさまざま

原因

- ・ 大量生産
- ・ 商品の安全性や質、店のサービスに対する消費者の欲求の多様化
- ・ ひとり暮らしや結婚後働く女性、高齢者など人々の活動の範囲や時間の多様化
- ・ 情報通信技術や輸送技術の発達



支払い方法も多様化

カードなどで支払う方法（ **キャッシュレス** ）の普及

（ **クレジットカード** ）（ **電子マネー** ）

※何を買うか決めるには（ **広告** ）が大きな役割を果たしている

※高額な買い物をする場合・・・（ **ローン** ）の利用

「クレジット」 ＝ （ **信用** ）が大切

メモ

12月5日（水）11:50～12:40（4時間目）

3時間目

本時のテーマ：「企業と金融の関係を考える」

本時の目的：①企業が商品を生産、販売していることを理解し、どのような目的で活動しているのかを理解する。

②企業がどのように金融と関わっているのかを理解する。

	生徒の学習活動	教材（発問・指示を含む）	学習到達目標（評価）	概念的知識
導入	◎経営者になるには何が必要か考える。	◎教科書 p124 の写真を見ながら考える。	◎さまざまな必要要因があることを理解させる。	技術革新
展開	◎教科書、ワークシートを使い、企業の種類や目的を理解する。 ◎資金調達にどのような方法があるか考える。 ◎班活動を通して、話し合いをしながら進める。 ◎代表の班長が発表する。	◎ワークシートを通して班で話し合う。	◎まず、自分の意見を出し合いながら、班の意見としてまとめていく。 ◎班による発表が、円滑かつ適正であるか。 ◎株式会社の概要を理解する。	利潤 公企業 私企業 株式会社
まとめ	◎ワークシートをまとめる	◎用語の確認をし、本時の感想を書く。 （教科書参照）	◎企業の役割、金融との関係を理解できているか。 ◎理解できたことを的確に表現できているか。	

3 章 企業を通して経済を考えよう

◎経営者になるために何が必要？

自分の考え

他の班員の考え

1 私たちと企業 p124～125

商品を製造、販売する会社・・・（ **企業** ）

品質の向上や価格の低下をもたらす（ **技術革新** ）
（イノベーション）

2 活動目的と種類 p126～127

○目的 売上 － 費用 ＝ （ **利潤** ）

○種類 民間の人々が経営する・・・（ **私企業** ）

国や地方公共団体が経営する・・・（ **公企業** ）

企業が生産活動をするため（経営者になるため）に必要な資源は

○企業の工場や店舗を建てるための・・・（ **土地** ）

○働く人々・・・（ **労働力** ）

○工場や機械、経営資金など・・・（ **資本** ）

↓

どうやって資金をつくる？

12月10日（月）14:20～15:10（6時間目）

4 時間目

本時のテーマ：「一般の銀行（市中銀行）と日本銀行の役割・課題」

本時の目的：①銀行や日本銀行の役割を理解し、どのように私たちの生活と関わっているのかを理解する。

	生徒の学習活動	教材（発問・指示を含む）	学習到達目標（評価）	概念的知識
導 入	◎お金が余っていたり、足りなかったりするときはどうする？ ◎導入マンガを見る	◎ワークシート ◎導入マンガ（知ろう！学ぼう！生徒用テキスト p16）	◎貯蓄や借金について、前時までの内容を確認する。 ◎銀行などの金融機関が大きく関わっていることを理解する。	金融
展 開	◎知ろう！学ぼう！生徒用テキストやワークシートを使い、金融の仕組みについて理解する。 ◎日本銀行の役割や課題について考える。 ◎班活動を通して話し合いながら進める。 ◎代表の班長が発表する。	◎知ろう！学ぼう！生徒用テキストやクイズ、ワークシートで金融機関の種類や業務内容について班で話し合う。 ◎紙幣の写真をスライドで見えて、紙幣の特徴を確認する。 ◎金融政策の内容について考える。	◎まず、自分の意見を班で出し合いながら、班の意見としてまとめていく。 ◎市中銀行や日本銀行が抱える課題について、消費者の目で考えることができるか。 ◎班による発表が、円滑かつ適正であるか。	金融機関 利子 決済 預金 貸出 日本銀行 中央銀行 発券銀行 政府の銀行 銀行の銀行 金融政策
ま と め	◎ワークシートをまとめる	◎用語の確認をし、本時の感想を書く。 （教科書参照）	◎内容を理解できているか。 ◎理解できたことを的確に表現できているか。	

6 金融のしくみとはたらき

7 日本銀行の役割と課題 p134～137

☆ お金が余っていたら・・・

☆ 欲しいものがあるのにお金が足りなかったら・・・

↓ 橋渡し

(金融)

(金融機関) には、銀行や信用金庫などがある

お金を借りた家計や企業は (利子) を支払い

預金者に支払われる (利子) のもとになる。

※支払い (決済) 機能も果たしている。遠くの企業への代金の支払いや、
光熱費などの自動引き落とし

ところで、銀行のお金が足りなくなったら・・・??

日本銀行の役割 日本の (中央銀行)

3つの役割 (発券銀行)・・・紙幣を発行する

(政府の銀行)・・・国が資金を出し入れする

(銀行の銀行)・・・銀行が預金、借入を行う

(金融政策) ・世の中に出回るお金の量を調節

・ (利子率) を上げ下げする

→ 一般の銀行に働きかける

・ バブルのような景気のいき過ぎを防ぐ